



# 大網ロータリークラブ

## Club Weekly Bulletin

- クラブ創立：2000年1月13日
- 例会日：水曜日（12：30～13：30）
- 例会場：中部コミュニティセンター  
TEL 0475-73-3337 FAX 0475-73-4360
- 事務所：〒299-3251  
大網白里市大網 450-6 ユアサビル 2 階  
TEL 0475-70-0200 FAX 0475-70-0222
- 会長：大越 将司 幹事：星野 実
- 広報・公共イメージ向上委員会  
委員長 小倉 光夫・会報担当 石田 英世

2024年 4月 17日(水)  
第25巻 第 35号

通巻第1065

http://www.oamirotary.com  
E-mai : rc@oamirotary.com



世界に希望を生み出そう

### 本日の例会

点 鐘 会長 大越 将司  
ソング 手に手つないで  
会長挨拶 会長 大越 将司  
幹事報告 幹事 星野 実  
プログラム 卓話 古山 豊 先生  
「地震と津波について（前編）」

### ニコニコ BOX

#### 大越将司会長

鶴沢ガバナー、お越し頂きありがとうございます。

石田会長エレクト・高野副幹事

鶴沢ガバナーお越し頂きありがとうございました。

四之宮由己会員

鶴沢ガバナーの公式訪問ありがとうございます。

吉原久男会員

無事74才誕生日を迎える事が出来ましたのでニコニコです。

例会日	4月10日	3月27日
会員数	31	31
出席	19	15
欠席	12	16
M U	0	0
免除	7	7
出席率	83.87%	70.96%

## 鶴沢和広ガバナー公式訪問 茂原中央 RC・大網 RC 合同例会



### 大網 RC 会長挨拶

大越 将司 会長



みなさん、こんにちは。

週末から昨日まで、悪天候が続いておりましたが、本日は晴天の中、例会が開催できること大変うれしく思います。

本日はご多忙の中、国際ロータリー2790地区ガバナー鶴沢和広様始め、第7グループガバナー補佐諏訪武士様、地区副幹事長清水隆様、地区幹事小金澤庸晃様、ようこそお越しくださいました。

鶴沢ガバナーにおかれましては、10月から始まった公式訪問が明日最終日とのこと、改めまして御礼申し上げます。本日はどうぞよろしくお願いたします。

さて我々大網 RC は、2000年にクラブが発足して、来年25周年を迎えます。クラブ設立にあたっては、本日ご参加頂いております茂原中央 RC がスポンサークラブとなり、全面的なご支援を頂きました。その後も本日の様に合同例会やゴルフ等、様々な場面で特別な関係を築いて頂きました。まさに鶴沢ガバナーのおっしゃる「Bring up Engagement」を両クラブが、実践してきた結果かと思えます。

杉江会長はじめ茂原中央 RC のみなさまにこの場を借りて、感謝申し上げます。

後ほどご案内があるかと思いますが、来年25周年記念式典を予定し、清宮建治実行委員長中心に、準備を鋭意進めております。

お世話になりました皆様には、たくさんのご出席いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。手短ではございますが、以上で私の会長挨拶といたします。

### 茂原中央 RC 会長挨拶

杉江 敏矢 会長



皆様、こんにちは。茂原中央ロータリークラブの会長を仰せつかっております杉江と申します。本日は鶴沢ガバナーを始め、諏訪ガバナー補佐、清水地区副幹事長、小金澤地区幹事の皆様ようこそおいでくださいました。また、大網ロータリークラブの皆様には、本日の開催にあたり、会場設営等にご尽力いただき茂原中央ロータリークラブを代表し感謝申し上げます。

本日の懇談会では和やかな雰囲気の中で有意義な時間を過ごさせていただきました。今年度はコロナ以前に行ってきた様々な行事もようやく元に戻ってきました。今まで以上に楽しく、そして地域に根差したクラブ運営を多くの仲間達とともに行っていききたいと思います。また、本日の鶴沢ガバナーの卓話を参考にこれからのロータリーの活動に活かしていければと思っています。最後に茂原中央ロータリークラブと大網ロータリークラブが絆を深めながら、共に良いロータリークラブを目指していくことを祈念して私の挨拶とさせていただきます。





泉恵子会員よりガバナーへ花束が手渡されました。



左から吉原久男 会員・高山 義則 会員



写真中央 茂原中央RC 武田大輔 会員

米山奨学生カウンセラー委嘱状授与



佐藤 廣子 カウンセラー

奨学生：郝 杉杉 (ハオ シャンシャン)

HAO, SHANSHAN

出身国・地域：中国

期 間：2024年4月1日～  
2025年3月31日

学校名：城西国際大学  
修士課程/人文科学



皆さんこんにちは。改めまして本日のガバナー鶴沢でございます。  
今年度会長 ゴードン R・マッキナリーについて説明させていただきます。  
1957年生まれ今年67歳、私と同じ年齢です。スコットランド出身で、歯科医院を経営。彼と私は去年の1月米国フロリダ州オーランドという場所で国際協議会が開かれた際、初めて会うことになるわけです。

国際協議会と言うのは我々がガバナーになるための最後の研修が国際協議会です。日本から34地区34名、世界から520地区、520名のガバナーエレクトがそこに集まり研修を受けました。

ゴードンの最初のメッセージは『継続』という言葉からスタートします。ロータリー歴の長い先輩は、ロータリーは単年度主義と学ばれて来たかと思えます。確かにロータリーは単年度主義で人事、予算などやって来ました。しかし、皆さんがやられている素晴らしい事業、奉仕活動、この素晴らしい活動はこれからも続けて行きますように明確に出しています。RIの会長は歴代の会長が始めた良い事は是非続け、単年度で終わらすのではなく、継続していこうという流れです。

2025-26年度からRIの会長テーマとロゴの作成が廃止となります。ロータリーが変革をしてくれているようにも思えます。

皆さんはローターアクトクラブをご存じでしょうか？  
茂原にはローターアクトクラブがありました。現在は残念ながら消滅しております。ローターアクトは基本的には18才から30才の若者たち、大学を基盤としているクラブも有りますし、社会人を基盤としたクラブもあります。彼ら彼女たちが今までは我々青少年プログラムの一員だったのです。地区に青少年プログラム委員会があり、その中でローターアクトを管理し、皆さんの地元であれば各クラブで管理していたと思います。この青少年プログラムから彼らは2019年の規定審議会を経て承認され、我々と同じRIの会員となるわけです。

規定審議会というのは、3年に一度世界中の520地区の代表が1人ずつ出て集まり、議案について決議をします。組織規定というのはRIの定款、細則そして皆さんの採用されている定款です。それが組織規定となります。皆さんの定款は世界中統一されています。勝手に変更されません。これは言語が違っただけで世界中全く同じ定款、細則でございます。

定款は3年に一度変更されます。最新のものをダウンロードして皆様ご活用下さい。細則は皆さんの裁量で決めて頂き、定款と矛盾が無いようにお願いします。細則を複雑にすると細則に縛られてしまいますので、それが無いようにして頂きたいと思えます。

●ローターアクトを育てる  
2790地区では5つのクラブがあり現在80名の会員が活動しています。世界では11,000のクラブがあり、20万人弱が活動しております。我々ロータリーは120万人弱が活動しております。インドなどアジアでは会員が増え、アフリカでも増えています。しかし残念ながらアメリカ、日本、オーストラリア、ドイツを除きどんどん数が減って来ております。増える国があり、減る国があるということで120万人を超えていかないのが現状です。これからはアクターを育て、将来のロータリアンを育てようという取り組みをしています。

●女子のエンターテインメント  
インドはカースト制度など貧富の差が激しい、東南アジアなど南米の一部では女子が15才までに結婚をし、子供を産んで家庭に入る。他にこんな人生があるんだという事を知らされず、彼女たちは自分の夢を描けず、勉強する事さえも許されない現実があります。この問題にロータリーでも積極的に取り組んでいます。

●ポリオワクチン  
1979年に600万人分のポリオワクチン(生ワクチン)と輸送費をロータリアンが出しました。1985年に正式にポリオプラスのプログラムを開始、120万ドルのお金を世界中から集め努力を始めます。撲滅運動(GPEI)を正式に世界に向け発信し、世界の子どもたちに対して約束をしました。

皆様には年間30ドルの寄付のお願いをしておりますが、この寄付は世界中のどこかの子どもたちのポリオワクチン、それを投与する費用になっています。

●2023-2024年度地区スローガン Bring up Engagement (エンゲージメントを育もう)



エンゲージメントとは  
会員一人一人がクラブの掲げる「戦略・目標」を適切に判断し、自発的に自分の力を発揮する貢献意欲の事です。会員のクラブに対する愛情や思い入れを指す言葉であり、「個人」と「組織」が対等で、ともに成長できるという関係性を指します。

ロータリーの歌を歌う時には、会長幹事は会員全員の目を見ながら歌う(皆を公平に見る)、会員は、会長幹事を見ながら歌う(会長幹事を応援する気持ち) 会員は会員同士向き合う。お互い向き合う、この姿勢が大切です。





1923-24 年度 (100 年前) RI の会長を務めていた Guy Gundaker (ガイ・ガンディカー) が考える「ロータリーの姿」  
ロータリーとは、  
ロータリークラブにおいては「親睦と学びの場」であり、  
ロータリアンにおいては「人間性の向上」をもたらすものであり、  
仕事においては「事業と業界の発展向上」に繋げるべきものであり、  
世間においては「世の中を良くしていく向上運動」であり、  
究極の目的は「素晴らしい真のロータリアン」を育て、  
支援し、増やすことである。

《素晴らしい真のロータリアン》

“素晴らしい真のロータリアン”とは、ロータリーで親睦と学びを通じて成長し、事業、業界、そして社会の向上に貢献する人である。  
具体的には、親睦と学びの場である例会に必ず出席し、ロータリーの歴史や伝統、価値や奉仕理念を学び、職業観や人生観を深め、奉仕の意欲を高め、奉仕の心を磨き、事業経営、業界、社会に対する見識を広め、かつ向上発展に努め、何より寛容な心でロータリーの志を共にする者同士の仲間意識を強め合いながら、自らの使命として世の中に貢献していくロータリアンである。

《ロータリーの目的》

意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。

《ロータリーの使命》

職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人々に奉仕し、高潔さを奨励し。世界理解、親善、平和を推進することである。

《ロータリーの喜び》

親睦と協調性を大切にして会員同士の信頼を繋ぎ『時に一生の友を得ることが出来る』ことである。

●クラブの戦略計画の作成 (または見直し)

会長エレクト・会長ノミネーと協議して行う。  
戦略計画作成のためのクラブビジョンをはっきりさせることが優先である。  
戦略計画は実現可能で持続可能なものとする。  
3～5年のスパンで計画する。  
戦略計画を実行中の場合は見直す必要があるか判断する。



ジョン・レノン 一人で見るとはただの夢、  
みんなで見る夢は現実になる

ポール・ハリス ロータリアンにとって1番大切なものは



ポール・ハリスの随筆を特集した  
「ザ・ナショナル・ロータリアン誌」1911年1月号。  
【ポール P. ハリス冒頭の言葉】  
もし神の導きで、いつの日か巨大なコロシオムの演壇に立ち、すべてのロータリアンの目を見ながら私が一言だけ語ることを許されるなら、一瞬のためらいもなく、私は大声を張り上げてこう叫ぶ

寛容の心

《我々ロータリアンが目指すもの》  
伝統を重んじロータリーの精神を大切にすること  
夢を大切にして未来のロータリーを築いてゆくこと  
人はたとえ年を取っても考え方は変えられる



Join Leaders Exchange Ideas Take Action